

教派神道連合会主催 公開講演会

「いのちの重さを考える 2」

【趣旨】

現在(平成23年2月23日)まで、脳死による臓器移植が124件実施され、昨年7月の改正臓器移植法施行以降、家族の同意のみによる移植例は35件となっています。

その中、私たちは法の正確な運用を熟知できているでしょうか。先端生命医科学の急速な進歩に対して、生命倫理観が置き去りにされてはいないでしょうか。

私たちは人が生まれること、死ぬこととはどういうことなのか、「いのち」についていま一度考えてみたいと思います。

第1回公開講演会では、講師の体験談から「脳死は人の死でよいのか」と、自身の心への問いかけを行いました。今回、第2回公開講演会を開催し、生命倫理研究の専門的な立場と、宗教との立場から、「いのちの重さ」を考える機会になればと思います、下記のとおりご案内申し上げます。

記

日時	平成23年3月28日(月) 午後3時～5時
会場	神道大教院 〒106-0031 東京都港区西麻布4-9-2
参加費	無料・参加自由
内容	1. 講演(講師:東京財団研究員 棚島次郎氏) 2. 講師とのディスカッション(パネラー:財団法人日本宗教連盟 顧問 禊教教主 坂田安儀氏・大本 人類愛善会 生命倫理対策問題会議 事務局長 松田達夫氏)
申込み	3月20日迄に下記申込書に記入のうえ Fax でお願いします
主催	教派神道連合会 加盟・12教派 (出雲大社教・大本・御嶽教・黒住教・金光教・実行教・神習教・神道修成派・神道大教・神理教・扶桑教・禊教) (お問い合わせ:扶桑教大教庁 TEL 03-3321-0238)

公開講演会参加申込書

FAX 03-3321-0268

お名前	
連絡先 住所	
電話番号	

頂いた個人情報は、本会以外の目的には使用しません